

令和 5 年 3 月 14 日

## 第 23 回地層処分技術 WG への意見書

東北大学 新堀雄一

事前の資料を拝見し、次のような意見を提出させていただきます。

・今回の NUMO による文献調査段階の評価の考え方(案)は、地層処分に関する「科学的特性マップ」、NUMO による包括的技術報告書および「特定放射性廃棄物の最終処分における概要調査地区等の選定時に安全確保上少なくとも考慮されるべき事項」を踏まえており、中深度処分に関わる規制庁の考え方をも参照しつつこれまで寄せられたWGでの意見に適切にも対応されていると存じます。

特に断層コアや新たな火山の考慮などに関する考え方をも検討されており、最新知見を踏まえて、考え方自体にも進展が見られると思います。なお、その中で、断層コアについては、その規模についても参考として言及されており、その重要性をより共有できるように工夫されていると存じます。また、新たな火山については、マグマの貯留等に着目されており、そこでは空間分解能の制約による物理探査データの解釈の不確かさをも考慮し、文献調査段階においても当該地域および周辺地域での広域的なマグマに関する地球科学的な知見などを含めた総合的な検討が必要となると拝察しております。

・WG に置いて指摘のあったテクニカルタームについても、適切に修正されていると存じます。

・今後、国が作成する本件に関する取りまとめについても、今回の考え方が適切に反映されるよう国と NUMO との間において適切な連携を図り、当 WG 等による公開の場での議論に繋がることを期待しております。